

アソカ講話070

テーマ「主体性を確立する・・・新人教育の現場から」

今年も新人教育の時期が来た。いつも繰り返し言うことは1つ。主体性を確立するということである。

主体性とは何か、自分の感情、自分の考え方は、自己選択し、自己決定する、その結果生まれるのは自己責任と知って生きることである。人生では、様々なことが起こる。例えば、ケアの現場でお年寄りが亡くなることもある。その時に、自分のせいだと過度に自分を責めたり、苦しんだりしている人は、一見お年寄りのことを考えているようで、実は自分のことしか考えていない。

介護者が自分を責めて苦しむことを亡くなったご利用者が望むだろうか、ご利用者が望むのは、この経験を生かして次のご利用者のために元気に明るくケアしてほしいということではないか。本当にご利用者の立場に立てる人は、いたずらに自分責めて苦しまない。

どんなことが起きても事実としては価値的には中立。プラスの価値をつけるか、マイナスの価値をつけるか、選択するのは100%自分の問題である。どんな感情を持って、それは自分が選んだことだと理解し、自分を、周囲を活かす考え方を選択するのが主体性を確立するという。自分を責めることで他者に甘えてはいけない。